

前川喜平さんが語る

今の教育なにが問題？



全国一の生徒数を擁する横浜市教育委員会は、戦争の悲惨さよりも戦争の肯定を、人権尊重よりも国への忠誠を強調する「つくる会」系中学校社会科教科書（育鵬社・自由社）を11年間採択し、2020年、ようやく不採択にしました。

しかし今年の採択で登場した新小学校教科書は、「政府見解」の記述を強いられる「検定基準」や愛国心の強調を忖度させる検定意見によって、従来よりも窮屈な内容になっています。主権者を育てるべき国が、意のままにできる人間をつくるために、もっとも無垢で影響されやすい「子ども」を、教育によって丸ごと握ろうとしている、そこに教科書問題は直結しています。そして来年は、「つくる会」系教科書の登場が予想される中学校教科書の採択替えがあります。さらに前のめりに進められる教育のデジタル化や教員の不足と多忙化が、喫緊の問題となっています。国の教育政策は今、何が一番問題なのか、元文科省事務次官の前川喜平さんに語っていただきます。



講師
前川喜平さん

元文科省科学省事務次官 著作「面従腹背」「権力は腐敗する」「教育鼎談：子どもたちの未来のために」他多数

日時 2023年11月25日(土)

午後1時30分開演(開場1時)

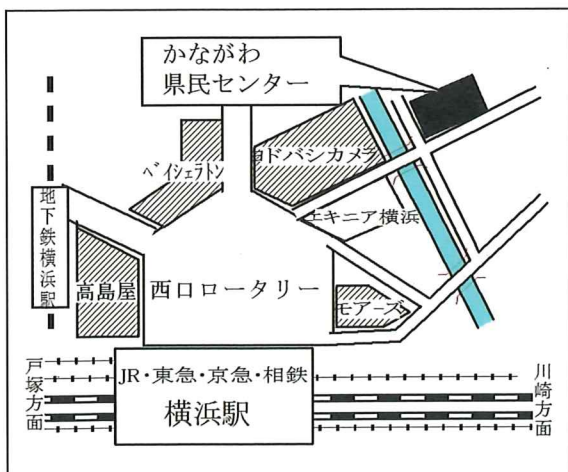
会場 かながわ県民センター

2階ホール

交通 横浜駅西口下車徒歩5分

ヨドバシカメラ横の橋渡る

参加費 500円(高校生以下無料)



*マスク着用にご協力
お願いいたします

主催 横浜教科書採択連絡会

電話 090-9293-8446